



和歌山県立図書館
文化情報センター



東京藝術大学

「一流」と「音楽の喜び」を体験しませんか？

和歌山県立図書館 ジュニア・アンサンブル講座 参加メンバー募集



東京藝術大学
「早期教育プロジェクト 2019 in 和歌山」連携プログラム

東京藝大音楽学部が和歌山にやってくる！一緒にアンサンブルを楽しもう！

これまで、ほんの一握りの音楽家たちだけに許されてきた、「音楽の喜び」と表現されることもある、室内楽。

もっと多くの人々に、音楽の喜びに触れてほしい。子供たちの夢や可能性と出会うため動きだした東京藝術大学と、和歌山県立図書館、そして和歌山の音楽ボランティアが、「日本最高峰の音楽指導」のもとに、和歌山の子供のためのアンサンブルの演奏会を行います。

昨年度修了演奏会演奏曲

ピアノとヴァイオリンのためのソナタ K376 へ長調
ピアノとヴァイオリンのためのソナタ K296 八長調
「泉のほとりで」のテーマによる6つの変奏曲 K360
キラキラ星変奏曲 K265 (モーツァルト)
ヴァイオリンとピアノのためのソナタ第5番より第1楽章(ベートーヴェン)
トリオ・ソナタ Wq146 イ長調(バッハ)
クラリネット・ヴァイオリン・ピアノのための組曲 Op.157b(ミヨー)
木管五重奏のための3つの小品(イベール)
全員合奏キラキラ星変奏曲(松原勝也)

室内楽講習会メンバーのスケジュール

2019年
8月23日(金) 初顔合わせ・
合同練習等開始

セレクションクラス別で合同自主練習。代表講師との面談や音楽ボランティアの協力による事前指導や説明があります。

8月25日(日) 藝大講師の
9月15日(日) 来館レッスン
11月1日(金)・11月2日(土) リハーサル

藝大による、アウトリーチレッスン。クラス別で、アンサンブルの完成、達成感を目指し指導を受けます。9月、10月に任意参加の合同練習が実施されます。

一般見学
無料

11月3日(日) アンサンブル
修了演奏会

3か月間のアンサンブル講習会の成果を、修了演奏会で発表し、室内楽合奏の喜びを体験します。

一般見学
無料

募集要項

■ 応募資格

和歌山県在住の小学5年～高校2年生
現在師事している先生の許可を事前に得ること

■ 応募方法

チラシ裏面の申込書に記入の上、郵送でお申し込みください。

■ 参加費

無料(交通費等は自己負担)
アンサンブル修了演奏会は当日どなたでも聴講いただけます。

■ 応募締切

2019年7月26日(金) 必着

■ 申込・お問い合わせ先

〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号
和歌山県立図書館文化情報センター
TEL:073-436-9530 / FAX:073-436-9531

リサイクル適性(A)

この印刷物は、回収後の紙をリサイクルできます。



和歌山県立図書館文化情報センター

代表講師紹介



村田 千佳
(ピアノ)

東京藝大附属高校、同大学を経て同大学院修了後渡欧、文化庁海外派遣研究員としてウィーン国立音楽大学大学院ピアノ科、室内楽科「ハイドン研究所」修了。オーストリアトーマスティック・インフェルド賞、国際シューベルト・現代曲コンクール、国際ハイドン室内楽コンクール審査員特別賞受賞。日本をはじめ欧州でコンサート活動を展開、ベルリン・フィルハーモニーホールでのDSO協奏曲シリーズでは好評を博し5回連続の招聘となった。帰国後は特にアンサンブルに意欲的に取り組み、国内第一線で活躍する音楽家や、R. ホーネック、D. オッテンザマー、K.H. シュッツ、W. アウアーなど国外のアーティストからの信頼も厚い。2009～2018年東京藝大音楽学部にて後進の指導にも携わる。大森文化奨励賞、和歌山市文化奨励賞、和歌山県文化奨励賞受賞。銀座ハプスブルク・ファイルヒェン音楽監督、日本ベトナム文化交流協会芸術監督、MMCJ国際教育音楽祭制作監督等も手がけ、2017年よりベトナムでの訪問演奏プロジェクト開始。2017年「コハーンとのオールブラームスCD発売、2019年にピアノトリオのCDリリースが予定されている。

私が音楽をより好きになり、生涯音楽と共に生きていきたい、との強い気持ちは、室内楽に出会ってから一層深まりました。言葉を超えた場所で、仲間と時間を共有する幸せを知ったら、その体験は、必ず、自分のソロの練習や演奏に、良い影響を与えてくれるでしょう。故郷和歌山で、若い皆さんと一緒に音楽をする喜びを分かち合えること、こんなに嬉しいことはありません。ふるっののご応募、お待ちしております。(村田 千佳 氏)



松原 勝也
(ヴァイオリン)

東京藝術大学在学中に安宅賞受賞。ティボール・ヴァルガ国際コンクール、クライスラー国際コンクール等で上位入賞。新日本フィルコンサートマスターを歴任。無伴奏リサイタル・シリーズ、ピアニスト山下洋輔、ギタリスト渡辺香津美など、ジャズ・ミュージシャンとのコラボレーション、武満徹室内楽作品全曲演奏、ベートーヴェン弦楽四重奏曲全曲演奏など、多彩な演奏活動は高い評価を受けている。2007年には、ロンドンの音楽の殿堂ウィグモア・ホールでリサイタルを開催。指揮者・ソリストとして同行した、2003年のジュニア・フィル欧州公演、2008年の同北京公演では大きな成果を挙げた。また、編曲にも力を入れており、バッハ「ゴールドベルク変奏曲」「プレリュードとフーガ」の弦楽五重奏版がそれぞれライブ・ノーツ・レーベルよりCD発売されている。2018年にはブラームス「弦楽六重奏曲第2番」の管弦楽編曲版が長崎大村室内合奏団定期演奏会で初演された。第17回中島健蔵音楽賞、第55回文化庁芸術祭新人賞受賞。静岡AOIレジデンス・クワルテット、カルテット・アーニマメンバー、長崎OMURA室内合奏団アーティストティック・アドバイザー、霧島国際音楽祭講師、東京藝術大学教授。



日高 剛
(ホルン)

1990年長崎大学経済学部へ入学。同大学を卒業後、東京藝術大学にてホルンを学ぶ。1996年よりオランダ・マーストリヒト音楽院に留学。帰国後、2000年広島交響楽団に入団。その後、日本フィルハーモニー交響楽団、読売日本交響楽団を経て、2005年NHK交響楽団入団。2008～2013年まで首席代行ホルン奏者を務めた。ホルンアンサンブル「つの笛集団」メンバー。富崎国際音楽祭、霧島国際音楽祭、草津国際音楽アカデミー&フェスティバルに参加。2009年にはドイツ・オストフリースランド夏の音楽祭に招待され、ソロ、室内楽を演奏。モーツァルト作曲「協奏交響曲」のソリストを務めるなど好評を博した。現在、邦楽器とホルンの共演や、「ホルンと彫刻の調べ」と題した演奏会を開催し音楽と美術のコラボレーションを試みるなど、多彩な演奏活動を行う。現在、東京藝術大学准教授。国立音楽大学講師、名古屋音楽大学客員教授を務める。日本センチュリー交響楽団首席客演奏者。ホルンアンサンブル「つの笛集団」、THE HORN QUARTET メンバー。日本ホルン協会常任理事。

佐原 敦子
(ヴァイオリン)

東京藝術大学附属音楽高校、東京藝術大学卒業。同大学院修士課程ヴァイオリン科修了。文化庁芸術家在外研修員として2年間留学、ウィーン国立音楽大学大学院室内楽科修了。ウラルスク国際ヴァイオリンコンクール優勝。東京藝術大学大学院室内楽科非常勤講師を経て、現在、藝大フィルハーモニア管弦楽団(東京藝術大学非常勤講師)、アンサンブルoftウキョウメンバー。公式ブログ:<http://ameblo.jp/atsukosahara/>

和歌山県立図書館(東京藝術大学プロデュース)ジュニア・アンサンブル講座

アンサンブルレッスン 参加申込書

受付No.

クラス(楽器名)	性別	男・女	年齢	歳
ふりがな	生年月日	西暦	年 月	日生
氏 名	在 学 校 名			
	学 年			
住 所	T E L			
	F A X			
E-mail	携 帯			
保護者氏名	続 柄			
楽 器	※参加できる楽器の種類は以下の通りです。 ピアノ、ヴァイオリン、チェロ、ヴィオラ、管楽器(クラリネット、ファゴット、フルート、ホルン、オーボエ)			
志望動機				
主な演奏歴、受賞歴	添付音源 <input type="checkbox"/> CD <input type="checkbox"/> DVD <input type="checkbox"/> その他 () 10分以内の演奏録音、録画を収録してください。 伴奏つきの楽曲は、原則として伴奏つきで収録してください。 ・録音は主にアンサンブルの編成等のための提出です。 ・録音、録画の品質が極端に悪い場合は、審査に影響することがあります。			
師事している先生のお名前	<input type="checkbox"/> 本アンサンブル参加の許可を得ました。			
現在練習している曲	作品名	作曲者名	西暦	年 月 日生

※提出された申込用紙は返却致しません。予めご了承ください。※本申込書に記載される個人情報については、本プログラム実施に係る業務遂行のためにのみ利用するとともに厳重に管理し、法に基づく場合を除き、申請者の同意を得ることなく他の目的で利用または第三者に提供することはありません。

■ 応募締切 2019年7月26日(金) 必着

■ 申し込み、お問合せ先 〒641-0051 和歌山市西高松一丁目7番38号
和歌山県立図書館文化情報センター